

家庭学習のススメ

R5 4月 富原小学校 家庭学習担当

お子様の進級おめでとうございます。今年度も、富原小学校の教育活動へのご協力よろしくお願いたします。

さて、先日お配りしました『富原小学校家庭学習リーフレット「チカラをのばす」2023』にもありますように、富原小学校では、家庭学習に取り組むようにご協力をお願いしております。

家庭学習に取り組む上でのQ&Aを作成いたしましたのでご一読ください！

家庭学習は、毎日しなくてはならないでしょうか？

各ご家庭の考えは様々あることと思います。基本は、毎日コツコツと取り組むことで、ねばり強く学習する力が身に付いてきます。しかし、習い事等でできない日もあるかと思ひます。1週間の中で調整しながら計画的に取り組むとよいでしょう。



家では、タブレットで学習しています。ノートで提出しなくてはならないですか？

ノート、タブレット学習、どちらにもメリットデメリットがあります(下の表を参照)。学校としては、ノートを使って学習をするメリットの部分(脳の記憶に残りやすい、間違いの過程の見取りなど)を重視したいと思ひます。基本的にはノートでの学習を推奨します。



家庭学習の力は「生きる力」

「生きる力」は、子どもがこれからの社会を生き抜くために、「家庭」と「学校」が力を合わせて育むものです。

【例題】
 ①「算数・理科・国語」などの基礎的な学習を徹底して行う。
 ②「読書・習字・絵画」などの学習を継続して行う。
 ③「英語・音楽・体育」などの学習を継続して行う。
 ④「生活習慣・社会生活」などの学習を継続して行う。

富原小学校 5・6年生のみぞさんへ

自分で考え、学習を進める力をつけることは、生きるためにも大切なことです。あせらずじっくりと、次の方法で、お家の人と一緒に取り組んでみましょう！！

- 1 家庭学習の時間を決めます！！ → 分
- 2 今日の宿題をやりましょう！！
- 3 時間が終わったら、自主勉強をしましょう！！
- 4 宿題や自主勉強が終わったら、お家の人が点検してもらおう！！

学習するときのやくとく

①「～ながら学習」はしませぬ！！
～ながらから～をしながら～をしながら
～をしながら～をしながら～をしながら

②つくえの上はきれいにします。

③文字をていねいに正しく書きます。

	メリット	デメリット
ノート	脳の記憶に残りやすい。 実際のテストと状況が似ている。 見た目に達成感がある。 間違えた過程がわかりやすい。	自発的に学習しにくい。 ドリルは書き込んでしまうと繰り返しできない。 書くことに時間がかかる。
タブレット	興味を持ちやすい。 繰り返し学習できる。 自動採点ができることがある。 データとして学習状況を把握できる。 視覚的・聴覚的に理解できる。	画面を見続けることによる体への影響(視力低下・疲労感)がある。 学習以外の用途での誘惑がある。 自動採点のため、間違った過程がわかりにくい。 すぐに正答がわかるので見直しの習慣が薄れる。 ゲーム感覚になりやすい。

そもそも、家庭学習は、なぜ必要なのですか？

大きなくりでの意味は、「自立」です。将来、自分の力で生きていくためには、自分の頭で考え、自分で選び、そして自分自身の人生を自分の力で切り開いていく力強い力、すなわち「生きる力」を身に付けるためです。やらされる勉強（宿題）ではなく、自分で選び、考える勉強＝家庭学習になります。その中で、自分の考えや思いを表現する力を高めていってほしいと考えています。

もちろん、学習内容の定着や学力向上の意味もあります。



じゃあ、家庭学習は、どんなことをしたらよいですか？

詳しい学習内容の例は、各学年のリーフレットをご覧ください。

まずは、家で学習をする習慣を身に付けられるとよいです。そしてやるべきことの優先順位を付ける力を身に付けさせましょう。宿題→復習→自分のやりたい学習→予習など、ご家庭で相談しながら進めていくとよいです。

また、保護者の方は、学習過程をしっかり認めほめる（結果だけでなく）、時には見守る、学習環境を整える（ながら学習はしない）など、協力してあげてください。



何分くらい学習したらよいですか？

目安時間は、学年×10分+10分！

1年生～20分、2年生～30分、3年生～40分、4年生～50分

5年生～60分、6年生～70分

お子さんの実態に合わせて、ご家庭で目標時間を設定しましょう。富原小学校では90%以上のお子さんが目安時間を達成することを目標としていますのでご協力お願いいたします。

